

科目名	健康と食育・薬育・スポーツ健康栄養学			授業形態	開講期間	4月6日～7月27日		
	英文科目名	Health and Food education, Drug education, Sports health dietetics		①対面授業 ○ ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信 ー	開講時間	火曜日 第3講時 17:30～19:00		
受講定員等	担当教員 宇佐見 則行			成績評価の方法	開講場所 石川県政記念しいのき迎賓館 3階 セミナールームA			
	単位数 2単位 定員数 50名 特別聴講学生等定員 50名 科目等履修生定員 50名 シティカレッジ聴講生定員 50名 定員超過時の選考方法等				出席 レポート アンケート			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：			受講料
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
								10,000円
科目の内容	<p>「健康」とは、心身共に健全な状態をいいます。本講義では、私たちが一生涯をかけて係り合う食と薬をテーマとして採り上げ、食事や食物に関する知識と選択力を身につけ、健全な食生活が送れるようにするための教育（食育）、薬に関する正しい使用法や副作用などの知識を、子供のうちから教育しようという試み（薬育）について解説します。「食育」では、身近な食の安全性をテーマに日本の食事情、食と健康（心と身体）、食品添加物、農薬、保健機能食品（特定保健用食品など）、食の安全（遺伝子組換え食品など、食中毒など、自然毒など）について、詳説します。皆さんと一緒に、食について考えましょう。また、「薬育」については、医師の処方せんがなくても、薬局・薬店で購入できる身近なOTC（Over The Counter Drug：薬局の薬、大衆薬、一般用医薬品）について、その適正な使用を「薬物乱用防止教育」の観点から、良い薬と悪い薬（薬の作用と副作用など）、医薬品の適正使用（セルフメディケーションなど）、偽造医薬品（輸入医薬品など）の危険性について、薬の基礎知識として、「薬とは何か?」、「薬と病気の関連性」などについて分かり易く説明します。医薬品を適正に使用できるように皆さんと一緒に考えましょう。特に、最近、石川県内でも製造が確認された「危険ドラッグ」の使用による危険性について、乱用性薬物（大麻、覚せい剤など）の危険性、危険ドラッグとその現状、低学年における薬物乱用防止教育の講義を通して、低年齢化している薬物乱用について皆さんと一緒に考えましょう。さらに、スポーツ健康栄養学では、ドーピング（サプリメントとOTC医薬品など、禁止薬物と遺伝子ドーピングなどの禁止方法）の基本的な知識を学び、ドーピングが心身に及ぼす影響について、皆さんと一緒に考えましょう。</p>						その他特記事項	
	授業担当教員紹介			URL				
ホームページ・メールアドレス等			E-mail					